



2015年
新春号

福岡市議会議員（東区）

おちいし俊則通信



福岡市議会 12月定例会



謹賀新春

輝かしい新年をお迎えることとお慶び申し上げます。

昨年12月15日に開会された福岡市議会定例会

は24日最終本会議を開き、総額5億800万円を減額する補正予算案等、64議案や印鑑条例改正条例案・学校校舎校庭使用料改正条例案等を可決承認し閉会しました。

私は、17日(水)「高齢者見守り支援事業」と「公立夜間中学校設置に向けての今後の対応」の2点について質問に立ち、意見を交わしました。また、以下の意見書・決議が採択されました。

- 40人学級復活検討に反対し、35人学級の拡充を求める意見書（賛成多数可決）
- CLT（直交集成板）普及促進による林業・木材産業の活性化を求め（全会派賛成可決）
- 暴力団による暴力の根絶に関する決議（全会派賛成可決）

一般質問

■高齢者見守りキーホルダーの導入を

おちいし

2010年国勢調査によると福岡市内の65歳以上の夫婦のみ世帯数、単独世帯数は、それぞれ37,737世帯、59,995世帯になっており、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるための環境づくりが急務です。

本市では、「ふれあいネットワーク」「安心情報キット」「緊急通報システム」「見守りダイヤル」事業が行われ、昨年12月より認知症高齢者の徘徊への対応として「徘徊高齢者捜してメール」事業がスタートしました。高齢者夫婦のみ世帯や単独世帯が増えている中、外出先で救急搬送された際の対策も必要です。

東京都大田区では、このような問題の対策として、65歳以上すべての方を対象に地域包括支援センターと、登録番号が記載された「高齢者見守りキーホルダー」システムを導入し、高齢者が安心して外出できる仕組みで成果を上げています。

本市でも「高齢者見守りキーホルダー」の導入を検討す

べきと考えます。



東京都大田区の「高齢者見守りキーホルダー」。本人の登録番号と地域包括センターの電話番号が書かれており、発見者がセンターに連絡すると、緊急連絡先が分かるようになっています。

保健福祉局長答弁

高齢者の見守りは重層的に取り組む必要があり、ご指摘の「高齢者見守りキーホルダー」についても、有効な手段の一つであると認識している。

今後、大田区の「高齢者見守りキーホルダー」をはじめ、他都市の事業も参考にしつつ、福岡の高齢者の生活に適した携帯型の見守りツールについても検討していく。

■公立夜間中学校の設置を



夜間学級は、戦後の混乱と貧しさの中で、家計を支えるため、昼間は学校に通うのが困難な子ども達のために全国 87 校に開設さ

れました。

2014 年 9 月現在、東京都や神奈川県、大阪府、広島県等 8 都府県に 31 校あり、中学を卒業できなかった日本人の高齢者や障がい者、不登校やひきこもりの若者、中国残留孤児の家族、在日韓国・朝鮮人、国際結婚や仕事で来日した外国人やその家族ら 1951 名が学んでいる。

しかし、九州・山口には一校もなく、退職教職員や現任教職員、学生ボランティア等が自主運営する「自主夜間学級」が福岡市・北九州市に計 3 学級あるのみです。

2010 年国勢調査によると、全国の義務教育未修了者は 12 万 8187 人、うち福岡市には、1,842 人の義務教育未修了者がいます。本年 6 月、衆議院文部科学委員会の中で、下村文科大臣は「少なくとも各都道府県に一つぐらいは設置することを考える必要がある」と答弁しています。

福岡市にも公立夜間中学校の設置と「自主夜間学級」の助成を含め義務教育未修了者の「学ぶ場」を保障する必要があります。

文科省は、未設置の道・県と政令市に「中学校夜間学級の充実・改善等への取組み事業」の調査を行う予定です。調査検討に当たっては、不登校のまま義務教育を終えた生徒の進路の状況や、義務教育未修了者の把握を的確に行うとともに、学びの場を創り支援している関係者等の声を十分に反映させるべきと考えます。

教育長答弁

公立中学校夜間学級については、他の自治体の公立中学校夜間学級の状況に関する情報収集を行い、国や政令指定都市の動向等を注視するとともに、関係者のご意見も伺いながら調査研究していく。

活動報告

【再生可能な自然エネルギー施設】

11 月 12 日 (水)

東区市政研究会「住みよい東区づくり隊」の第 2 回調査活動は、区内の再生可能な自然エネルギー施設の見学でした。



小雨まじりの天候の中、

29 名が参加。車 10 台に分乗して、「東部メガソーラー発電所」(東区蒲田)「風レンズ風車」(みなと 100 年公園)「浮体式風レンズ風車」(海の中道沖)を訪れました。

海の中道沖に浮かぶ「浮体式風レンズ風車」は、大型の風車と比較して騒音や低周波の影響、バードストライクの障害も少なく、風況に恵まれない福岡市には適しています。

軽量化や量産化、コスト削減が課題ですが、有効な再生可能エネルギー施設として期待されます。

【森と海の再生交流事業】

11 月 29 日 (土)



「森と海の再生交流事業」(早良区石釜地区)に福岡市森林・林業・林産業活性化促進議員連盟の一員として参加しました。森林の

保全は漁業者にとっても大変重要なことです。

この日は、昨年と同様、市役所職員をはじめ私の地元「奈多植林会」や漁業関係者を含め約 200 人が参加し、ヤマモミジやコナラ等約 1000 本の苗を植えました。森と海の交流を象徴するように、今年も志賀島弘漁協のサザエ飯をいただきました。たいへん美味でした！

本年も一人ひとりの声、そして地域の願いを市政に届けるべく尚一層の努力を重ねてまいります。変わらぬご指導ご鞭撻のほど、よろしく願いいたします。

福岡市議会議員

おちいし俊則事務所

〒811-0204 福岡市東区奈多 1-10-12

TEL : 606-4541 FAX : 606-6878

<http://www.ochiishi.jp/>

E-mail info@ochiishi.jp